

宅建士レジュメ

2024

講座の流れ

S T E P 1. 講義を受講する

講義で概要を理解する。最初はなんとなく構いません。

↓

S U T E P 2. 問題集で確認していく

テキスト⇒問題集(過去問)

「問題を解く」というよりは、「問題を解く形でインプット」します。

問題集に載っている内容は、テキストへマーカを引いてインプットを強化します。

問題集(過去問)は、解くのではなく知識のインプットに使う

問題集の理解はインターネットをフル活用する。

知らない用語はネットで調べればたいていのことはわかります。また、「宅建 過去問 平成〇年 問〇」と検索すれば、いくらでも解説が出てきます。問題集の解説を読んでよくわからなかった場合、他の解説を読めばわかる場合も多いです。

講義を受講していただければ学問の土台を固めることができます。あとはインターネットを駆使すれば効率的に学習することができます。

宅建士は士業者です。お客様から色々と聞かれる側になります。試験合格後もわからないものはインターネットをフル活用することになりますので、疑問点を調べて解決する能力を鍛えることをお勧め致します。講義中もスマホを使っていただけて結構です。もちろんわからないものはどんどんご質問ください。

↓

S U T E P 3. 何度も繰り返す

テキスト・問題集を何回も繰り返します。講義を受講したのみで復習しないで合格することは不可能です。この復習の量が得点力を少しづつ底上げしていきます。

最低 10 回転するくらいの気持ち、100%覚える気持ちでやるとよいと思います。

↓

S T E P 4. 模擬試験

模擬試験

直前には模擬試験問題集もやっていきます。

この時期に知識があやふやだと、模試を受けても点が取れません。

点が取れないと、模擬試験が楽しくありません。

逆にいい点が取れると、模擬試験が楽しくなってきます。

模擬試験では知らない知識の問題や、見慣れない言い回しの問題が出ます。それに対して既存の知識で確実な合格点を叩き出す実践力を身に付けていきます。

↓

S T E P 5. 本試験

ここまで来たら 10 月の本試験で合格するだけです。

学習範囲

1.範囲を広げすぎない

100%の範囲を80%の精度で覚えるより、80%の範囲を100%の精度で覚えたほうが合格しやすくなります。解っていても、正確に覚えてないと得点は取れません。

わずかでも試験に出る可能性のある範囲まで学習すると、膨大な学習量になります。

テキストや問題集に載っている範囲をしっかりと覚えれば、満点でなくても余裕で合格点は取れます。

テキスト・問題集は既にかなり絞ってありますので、テキスト・問題集の80%を学習すればよい訳ではありませんのでご注意ください。

2.テキスト・問題集に載っていないところは気にしない

「もしどうなつたら、どうなるんだ？」

「テキストにはこう書いてあるけど、その先はどうなるんだ？」

と、気になる箇所も一杯あると思います。

しかし、テキスト・問題集に書いてあるところをどれだけ正確に覚えているかが合否の分かれ目です。テキスト・問題集にのってない部分まで考えるとパンクします。専門家に聞いても答えられない事は多いです。さらにいうと、誰も知らないなんてこともあります。そんなところまで気にして、受験上は意味がありません。気になる場合は、試験合格後に勉強すればよいと思います。



山梨宅建学院で利用するTACさんの教材は平均よりややヘビーです。しっかりとこなせば合格ボーダーライン+4~6点は可能です。当日の運に左右されない十分な学習量がありますので、これ以上手を広げる必要はありません。むしろこれからやる教材をしっかりと消化できるか否かが合否の分かれ目です。

3.問題集に載っていて、テキストに載っていない部分は、問題集から覚える

テキストはかなり分厚いですが、それでも完璧ではありません。問題集に載っていて、テキストに載っていない部分もあります。そこはあまり重要な論点ではありませんが、過去問は繰り返される場合がありますので、枝葉末節などでも、問題集に載っている内容は、念のため問題集から覚えることをお勧めします。深く理解しなくて構いません。

4.合否は知識の精度で決まる

覚えていたつもりでも、いざ問題を解いてみると、曖昧だったりします。問題集は、問題を解くというより、正確に覚えるための教材としてご利用ください。試験に慣れていないと、最初はテキストや要点性を完璧に全部覚えたいと思ったりします。しかし何度も繰り返して覚えた内容以外は試験で使えません。

講義でテキストの理解をしたら、問題集を中心に復習してください。問題集やりながらテキストにもどつたりしてインプットするのが一番よく覚えられます。

結局最後は合格に必要な範囲をどれだけ正確に覚えているかで合否が分かれます。

おすすめする心構

1. 合格のみを目的にしない

合格は大事ですが、合格のみを目的にすると、勉強が「面倒な作業」になってしまいます。本来勉強は楽しいものです。知識は人生を実りあるものにしてくれます。せっかくなので、宅建士の勉強そのものを楽しんでいただければと思います。楽しいことは継続できます。その方が合格する可能性も上がります。

「之を知る者は、之を好む者に如かず。之を好む者は、之を楽しむ者に如かず」論語
意味「知ろうとする者は、これを好きな者にはかなわない。好きな者も、これを楽しんでいるものにはかなわない。」宅建の勉強を楽しんでいる者には、だれもかなわない。楽しめる人は圧倒的実力で合格できます。

2. 最初から完璧を目指さない

理解は必要ですが、宅建士試験はいろいろな専門用語が登場し、一通り学習が終わらないと意味がよくわからない内容もあります。最初から完璧を目指すと挫折する可能性がありますので、一部の項目は「何となく」でもOKです。そのうちわかつてきます。

3. わからなくても、へこまないでひたすら続ける。

勉強はスポーツと同じです。何度も繰り返せば、少しずつレベルアップできます。スポーツがうまい方は、筋肉があつたり、体力があつたり、スポーツの覚え方にも慣れていて、他のスポーツもすぐ覚えます。勉強も同じです。法律の勉強に慣れていない場合は、最初は苦しいです。しかし、何度も繰り返すとだんだん勉強自体が得意になってきます。そこで得た力は、他の勉強でも活きてきます。

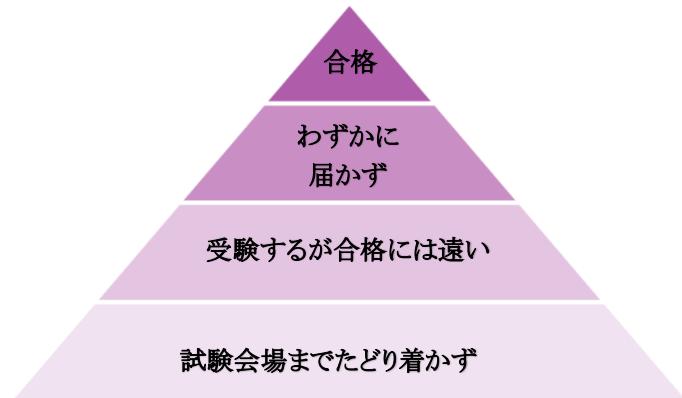
ひたすら続ければ合格できる

4. 理解してから覚える

単なる暗記ではなく、理解も大事です。暗記していなければ合格できませんが、理解は暗記を助けています。完璧に理解できなくてもいいですが、ある程度の理解があるとないのでは暗記の精度が違ってきます。試験では理解していれば、考えて妥当な結論を導きだせる場合もあります。

5. 確証バイアスに気を付ける

確証バイアスとは、自分の思い込みや願望を強化する情報ばかりに目が行き、そうではない情報は軽視してしまう傾向のことを指します。宅建士の試験は上位 15%～17%が合格する試験です。インターネットなどで簡単に合格した方の情報のみを集めて簡単に合格できると思い込むのは危険です。



6.合格する人と不合格になる人

	合格する人	合格できない人
学習量	勉強時間を確保している。	忙しくて勉強できない。
習慣化	勉強が習慣化しており、淡々と当たり前のように勉強している。	やる気のアップダウンが強く、特に最初と直前期だけやる気がある。
学習範囲	合格に必要な範囲を徹底的に繰り返している。	テキスト・問題集に載っていないような細かい点にこだわる反面、重要な部分がうろ覚え。
記憶の精度	ある程度理解したら、問題集・テキストを何度もやりこんで徹底的に覚えている。	テキスト・問題集をやりこんでおらず、知識がうろ覚え。
本番の意識	本試験でミスがたくない。	本試験でミスが多い。

合格する人としない人の一番の違いは、「復習の量」です。個人差がありますし、時間をかけなければよいわけではありませんが、合格される方のほとんどの方は、合格できるだけの勉強をされています。

7.主体的に進めていく

ファシリテーター

大人向けのスクールはファシリテーター(学習促進者)としての役割を果たしています。ファシリテート(facilitate)とは、「容易にする」「楽にする」「(行動・過程などを)促進する・助長する」などの意味があります。「ファシリテーター」とは、学習促進者・進行係です。生徒さんの学習を促進することにその役割があります。

山梨宅建学院の主な役割

- 1.合格のために何をしたらよいのかお伝えします。
- 2.正しい理解で学問の土台を固めていただきます。
- 3.学習のペース配分をお伝えします。
- 4.どこまで学習したら合格できるのかお伝えしていきます。

学習環境を構築していくのはご自身です。

覚え方のコツ

1.イメージできる言葉で覚える事(理解すること)

イメージできない言葉	イメージできる言葉
1 れえむ	1 埼玉
2 たあや	2 北海道
3 めろし	3 山梨
4 さむて	4 沖縄
5 ろむく	5 東京
6 こあむ	6 千葉
7 すめも	7 静岡
8 みけな	8 長野
9 しむめ	9 大阪
10 なあゆ	10 大分

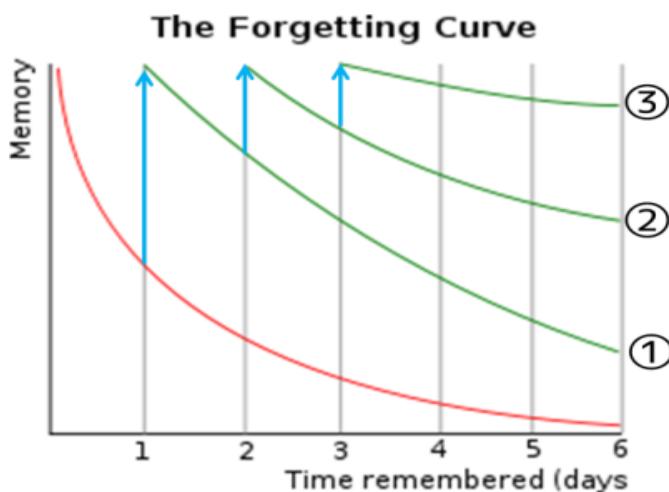
イメージ=心の中に思いうかべる姿

2.まとめること

日本列島	大都会	東京 大阪
	両端	北海道 沖縄
	山梨で縦	長野 山梨 静岡
	ライバル	埼玉 千葉
	その他	大分

3.繰り返すこと

エビングハウスの忘却曲線



一度勉強してそれっきりだとかなり忘れますが、短期間に復習すると、忘れるカーブが緩くなってきます。その繰り返しも、同じ角度から別のものを何度も繰り返すとよく覚えられるようになります。

登録講習

「登録講習」とは、不動産業に勤務の方が、5問免除になる制度です。

4月頃に締め切りになりますのでご注意ください。

不動産業の方は勤務先からご連絡があると思いますが、必要でしたら当方でご案内いたします。

※日程等は必ず主催機関様でご確認ください。